

雲仙岳の山々の顔ぶれ①

Profiles of component mountains of Mt. Unzen

●個性あふれる30以上の山々

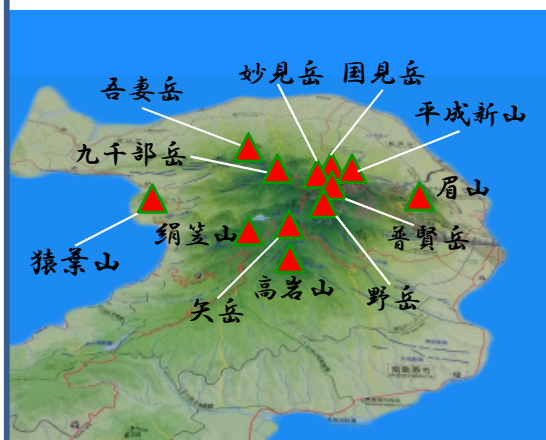
Unique component mountains amounting to more than 30

雲仙岳を構成する山々は、様々な形状や歴史をもち、東西南北、朝夕と異なる表情を見せてくれます。



雲仙岳の主峰群である4兄弟
(妙見カルデラの中に普賢岳・平成新山が誕生)

雲仙岳の主な山々の位置



普賢菩薩にまつわる山
(島原市／雲仙市の最高峰)



国見町の名の由来の山



妙見菩薩にまつわる山



仁田峠背負う山 (南島原市の最高峰)



巨人“みそ五郎”の住まう山



シャープな山容／緩やかな山容
(僧行基の修行の山／
吾妻町の名の由来の山)



雲仙地獄を西から見守る山



雲仙地獄を東から見守る山

雲仙岳の山々の顔ぶれ②

Profiles of component mountains of Mt. Unzen

● 様々な数字で表現されてきた起伏に富む山容

Complicated figure expressed by various numbers

雲仙岳は、三岳、五岳、三岳五峰（三峰五岳）、八景、二十四峰、三十六峰と、様々な数字で表現されてきました。



鳥原の町を見守る緑の屏風
(雲仙岳東端の溶岩ドーム)

眉山は、奥山（普賢岳等）に対する“前山”の発音が
前山⇒マイ山⇒眉山に転じたものとされています。
舞岳も前岳から同様に転じたものと推察されます。



有明の町を見守るお椀状の山



田代原高原（千々石断層）を
見守るトサカ状の山



小浜温泉・千々石の町を
見守る傘状の山
(雲仙岳西端の溶岩ドーム)



平成新山 1483m
普賢岳 1359m
国見岳 1347m
妙見岳 1333m
野岳 1142m
九千部岳 062m
石割山 968m
矢岳 940m
高岩山 881m
絹笠山 879m
吾妻岳 870m
稻生山 845m
鳥甲山 822m
眉山 819m

